

>>>> めっき技術講習会を開催 <<<<

3月21日(金)に当センターで「めっき技術講習会」を開催しました。講師の先生には、30数年、めっき技術に従事され豊富な経験をお持ちの山口県産業技術センターの山田隆裕次長をお願いしました。講演内容は、「めっき技術の基本」「めっき技術に関するトラブル対策」「最近のめっき技術の動向」でした。テキストの説明だけでなく現物を示しながらの説明、教科書には載っていないめっき技術の勘所まで教えていただきました。県

内から32名の出席者があり、継続してめっき技術講習会を開いて欲しいとの声をいただきました。



>>>> 緑化基盤開発グループがグッドスタッフ表彰を受賞 <<<<

当センター素材開発部を中心とした緑化基盤開発グループ(代表 袖山研一主任研究員)が、新技術・新製品の開発普及等において顕著な功績をあげた職員に県が表彰するグッドスタッフ表彰のグッドジョブ賞を受賞しました。

開発した緑化基盤は、本県に多く分布するシラスを用いて県内企業と共同開発し、ヒートアイランド現象の緩和や温暖化抑制の効果が期待されることから、鹿児島市の市電の軌道敷の緑化をはじめ、屋上緑化や舗装材として多方面に利用されています。



(開発グループ員：袖山研一主任研究員，吉村幸雄主任研究員，瀬知啓久主任研究員，瀨石和人元工業技術センター所長)

>>>> 松田豪彦主任研究員が工学博士の学位を取得 <<<<

素材開発部の松田豪彦主任研究員が、平成20年3月25日に鹿児島大学から工学博士の学位を取得しました。学位論文のテーマは、「鍛造加工の加工プロセス設計に関する研究」で、金型とプレス機を用いて金属素材を目的の形に成形する鍛造加工技術について研究したものです。本研究では、軸対称側方押し鍛造加工に着目し、いくつかの金型形状で成形実験によるシミュレーションを実施し、最適な加工プロセス設計を行いました。これにより、製品設計と型構造設計の最適化が図られ、低い加圧力で最適化された成形品形状が得

られる工法を見出しました。

なお、当センターの博士の学位取得者は、平成20年4月現在で8人となります。

(当センター在職中における博士の学位取得は10人目となります。)

